

国策「行き当たりばったり」の道連れ 文字どおりの「画竜点睛～」



3年がかりで試作してきた幻の米はご賞味いただけましたか。辰年に「龍の瞳」が間に合ったのは計画どおり(エヘン)というはウソ。これこそ、あずき産地の座右の迷たる「行き当たりバッチリ」でした。

どっこい、想定外の問題点や、さらに悔しい事態が待っていたのです。

一つは、収穫後、モミすり作業につづいて、グレーダー(ふるい)を通すさいに、あまりに粒が大きいために、クズ玄米をふるい落とすことができないという問題です。やむをえず、精米後に再びグレーダーを通して破碎米を除くように

しました。が、それでも不十分な選別しかできていません。わざわざ大きい目の網をかうしかなのかなあ。

もう一つは、もっと深刻です。米に含まれる放射能を分析した結果が右の表です。そう、放射性セシウムが白米からも検出されたのです。コシヒカリよりも吸収率が高いのだろうか。微々たる数値とはいえ、気持ち的には4年越しの苦勞が台無しにされてしまった。

文字どおり「画竜点睛」を欠いた顔未で、「行き当たりバッチリ」のつもりが、行き当たりばったりでは、日本の原発そのままじゃないかあ。トホホ・



食品の放射能測

分析報告書に記載し (Cs-137, Cs-134)の分

里のギャラリー 186

分析依頼者	鈴木			検査
分析依頼試料	白米 龍の瞳(記載なし)			実施
測定装置	Inspector1000	測定容器	V-11容器	測定
測定項目	測定結果(Bq/kg)		基準値(Bq/kg)*2*	
放射性ヨウ素 I-131	不検出		本法に設定なし	
放射性セシウム Cs-137	7 Bq/kg	11 Bq/kg	500	
放射性セシウム Cs-134	4 Bq/kg			



水戸駅頭でTPP

1月12日、水戸駅南口での宣伝に あずき産地も参加